

貯法 室温保存, 密封容器

エストリオール水性懸濁注射液

要指示医薬品 指定医薬品

動物用ホーリン<sup>®</sup>50HOLIN<sup>®</sup>

## 【本質の説明又は製造方法】

エストリオールは卵胞ホルモンの一種であり、生体内では胎児の成長に伴い生成量が増加し、妊娠末期に最も多く生成されます。エストリオールは子宮体部よりむしろ頸部に作用し、頸管の開大と頸管腺の分泌を旺盛にし、分娩を容易にします。

## 【成分及び分量】

|      |             |
|------|-------------|
| 品名   | 動物用ホーリン 50  |
| 有効成分 | エストリオール     |
| 分量   | 1 mL 中 5 mg |

## 【効能又は効果】

牛（雌）：子宮頸管の弛緩

## 【用法及び用量】

1回1頭当たりエストリオールとして、下記の量を筋肉内に注射する。

牛（雌）：10～20 mg

## 【使用上の注意】

## （基本的事項）

## 1. 守らなければならないこと

## （一般的注意）

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

## （取扱い及び廃棄のための注意）

- ・本剤は用時振盪し、均一化させて使用すること。
- ・本剤を分割投与する場合は、速やかに使用すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。
- ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。

## 2. 使用に際して気を付けること

## （使用者に対する注意）

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・使用した後、あるいは使用者の皮膚に付着した場合は、石けん等でよく洗うこと。
- ・妊娠中又は妊娠している可能性のある女性には、注射作業を行わせないこと。

## （牛に関する注意）

- ・本剤の投与前には健康状態について検査し、使用の可否を決めること。
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

## （専門的事項）

## 重要な基本的注意

- ・本剤の有効成分であるエストリオールは、発がん性及び催奇形性を示唆する報告がある。

## 【薬理学的情報等】

## （薬効薬理）

- ・子宮腔部及び頸部を軟化させるが子宮肥大作用は弱い（ラット、モルモット）。
- ・腔粘膜上皮の肥厚・増殖、血管形成を促す（マウス、ラット）。
- ・子宮頸部のアミノ態窒素及びリンの取込みを増加させる（モルモット）。
- ・子宮頸管の収縮性緊張を抑制し頸管内圧を低下させる（ラット）。
- ・脳下垂体性ゴナドトロピンの分泌を抑制する（ラット）。
- ・子宮頸管開大不全時に頸管の開大が認められる（ウシ）。
- ・子宮頸管開大により胎盤とミイラ化胎児の排出が認められる（ウシ）。

## 【包装】

動物用ホーリン 50：10 mL × 5（バイアル）

## 【製品情報お問い合わせ先】

あすかアニマルヘルス株式会社  
〒108-0023 東京都港区芝浦二丁目15番6号  
TEL：03-5439-4188



製造販売元

あすかアニマルヘルス株式会社

東京都港区芝浦二丁目15番6号  
TEL. 03-5439-4188 FAX. 03-5439-4191

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。